

## 普及推進委員会の活動報告

### 1. 普及推進委員会の目的と活動方針

普及促進委員会は、各部会での調査研究活動の支援および成果の広報等を集約し効率的に実施することを目的とする。この目的を達成するため、以下を行うこととしている。

#### (1) 成果の普及・広報

シンポジウムや講演会の開催、メディアへの広報ならびにその支援を行う。

#### (2) 調査・研究活動の支援

複数領域の調査・研究活動の統括、共同研究の支援（研究費獲得等）などを行う。

#### (3) 調査や研究および成果の普及のための組織の設立・運営

産学官の連携による共同研究等の効果的な推進のための組織として、コンソーシアムの設立ならびに運営を行う。

### 2. 活動の概要

#### (1) シンポジウムの開催

活動の中間報告や海外調査に基づくシンポジウムを開催した。

第2回 知的生産性シンポジウム 2008年8月6日(水) 新宿住友ホール

内容：知的生産性に関する研究と応用の最新動向

研究の最新動向(村上委員長、伊香賀主査)、オフィスの動向とビジョン(岸本章弘氏)、事例を踏まえた将来展望(可児才介氏、恵良隆二氏)

94名(一般49名、関係者45名)が参加。

第3回 知的生産性シンポジウム 2009年1月23日(金) すまい・るホール

内容：知的生産性を高める先端オフィスの国際事例報告

調査概要(宗本主査)、事例報告(徳本幸男氏、田名綱雅人氏、高井啓明氏、篠島久明氏)、130名(一般94名、関係者36名)が参加。

第4回 知的生産性シンポジウム(予定) 2009年3月19日(木) すまい・るホール

内容：知的生産性に関する評価ツール等の開発動向

委員会報告(村上委員長)、各部会報告(伊香賀主査、田辺主査、川瀬主査、宗本主査)、特別講演(山梨知彦氏)

#### (2) 調査・研究活動の支援

建築空間部会が主体となって実施した海外事例調査の企画・実施等を支援した。

#### (3) 知的生産性研究コンソーシアムの設立

産学官の連携による知的生産性研究コンソーシアム(会長：村上周三(独)建築研究所理事)を設立し、活動を開始した。

設立総会 2008年8月6日(水) 参加会員 19社(2009年3月4日現在)

コンソーシアムの元に学識者等を加えた部会等(5部会、5小委員会)を設けて具

体の検討・開発を開始した。学術的・基礎的検討を行うために（財）建築環境・省エネルギー機構に別途設けられた「知的生産性研究委員会」（委員長：村上周三）と平行・連携して、各部会等で具体の研究開発を推進した。

### 3. 今後の活動

#### (1) シンポジウムの開催

年度中間の時期に、一部の成果報告と出版される予定の本の内容を紹介・解説するシンポジウム（第5回）、年度末頃に活動状況報告のためのシンポジウム（第6回）を開催する（予定）。

第5回 2009年10月頃 出版記念シンポジウム

第6回 2009年3月頃 成果報告

#### (2) 出版

出版委員会を設け、2009年10月頃の出版を目指す。

#### (3) 部会活動の支援

海外先進事例調査等、各部会の活動を支援する業務の企画、実施を検討する。

#### (4) コンソーシアムの運営

運営ならびに会員拡大を行う。

普及推進委員会 委員長：坊 垣 和 明（武蔵工業大学）